

白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん！

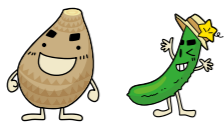
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。



●9月の人気農産物

ナス、サヤインゲン、キュウリ、サトイモ、リンゴ など



青葉市直売所

月1回の「サービスデー」(定期市)を開催中！各店とも月初めの販売日に開催します。お買い上げ金額にかかわらず好きな新鮮野菜1点をサービスします。

①ポーチパーク内 毎週水・土曜日9:00～12:00

②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば) 毎週水曜日9:00～12:00

③いきいきプラザ 毎週土曜日9:00～12:00

※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。

☎佐藤よし子 ☎25-8860

馬牛沼産直センター

毎週火・木・土・日曜日9:00～17:00

●場所 国道4号沿い馬牛沼付近

☎馬牛沼産直センター ☎25-0520



小十郎の郷 ～農産物生産者募集中～

9:00～18:00 年末年始を除いて毎日営業！

9月19日(土)～23日(祝)の5日間、「秋彼岸セール」を開催します。2,000円以上お買い上げの方に、野菜(100円相当)をプレゼントします。

●場所 JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内

(福岡長袋字八斗詩)

☎小十郎の郷 ☎22-0881

http://www.kojuro-sato.com



軽トラ市 毎週金曜日9:00～12:00

●場所 すまゐるひろば

☎四竈 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

羽山朝採り市 毎週土曜日9:00～12:00

●場所 犬卒都婆公会堂前

☎小畑 胖 ☎27-2236

小原いきいき直売所 11月末まで毎日10:00～15:00営業！(悪天候により休業あり)

新鮮野菜のほか、リンゴ・ナシ、山野草、手芸品なども取り揃えています。

●場所 小原材木岩公園内

☎小原いきいき直売所 ☎29-2760

バーバ工愛市

今月のオススメは、人気農産物のほか、生花やぶどう、桃などの果物も取り揃えてお待ちしております。

9月13日(日)「第29回しろいし蔵王高原マラソン大会」(南蔵王野営場)にも出店します。

①旧JAみやぎ仙南白石地区事業本部ななめ向かい

(バーバ工愛市のオレンジ色のほり旗が目印です！)

毎週水曜日 9:00～12:00

②JAみやぎ仙南福岡支店構内店(旧めぐりハウス白石)

毎週土曜日 9:00～12:00

☎JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市 ☎25-3531

※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。

※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

9月7日(月)～11日(金)「食材王国みやぎ 県庁1階展示販売会」に出店します



年の出店では、「漬物にするのにはどんな種類のナスがいいですか？」などの消費者の人たちの質問に生産者が直接答え、会話をしみながら白石産の新鮮野菜をPR出来ました。また、「昨日買って美味しかったから今日も買いに来たよ！」などと話してくれる人もいました。白石市農産物直売所連絡協議会では、白石産の美味しい野菜を栽培し、皆さんに食べてもらう事を励みに活動しています。今後も、さまざまな地産地消のイベントに参加しながら白石のPRに努めていきますので、応援をよろしくお願いいたします。

●日時 9月7日(月)～11日(金)10:00～16:00

●場所 県庁1階玄関ホール

※期間中、市内直売所は通常どおり営業します。

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌・俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

岩崎 聰之介 選

市民文芸

川べりの日向に巻ける藤のつる太きが夏の水面に届く 佐藤喜和子
山裾に父母兄弟の眠り居れど卒寿のわれよ足ままならぬ 阿部はぎの
そこここに咲く紫陽花の青の色けさくゆくのそも青のミニはく 高橋 政男
咲かせたる花を供えて香を焚く老いのしあわせ吾に言い聞かず 高子うぶん
友釣りの竿がしなりて躍る鮎いかつい顔が一瞬ゆるむ 別当内信夫
歩かねば動けなくなる日が来ると今朝もひたすら川べを歩む 門脇 貞造
兄さまが君影草と呼びし花君を想うか幾許咲きたる 大庭美智子
取獲はきゆうり四本に紫蘇数枚菜園ノートにイラストも添う 佐藤 啓子
庭桃にまま落つるあれ数十の袋をかけて熟れゆくを待つ 末吉アツ子
糠雨に濡れつつ返る道のべに朝顔の蔓夕べを泳ぐ 寺崎 悦子
【評】一首目、目に追えば、蛇身の如き一部が水に漬かっているところ。丹念に写された。二首目、いつしか遠く暮参、そんな日が誰にも来よう。三首目、色的一致。ミニも花も明日の色を想わせたりして面白い。因みに、あじさいの異称は「七変化」だ。

俳壇

山家 弘子 選

青時雨沙羅の花散る茶庭かな 別当内信夫
夕暮の縁に並んで瓜を食ふ 岩澤 伍峯
木槿垣魚焼く煙通くる 制野 啓子
荒れ果てし庭に透るま百合の花 佐藤 孝子
雨音の心癒せし初夏の夜 佐藤 孝子
【評】一句目、太平洋が遥に見える所に特攻隊として若き命を落とされた人のお骨の入っていない墓がある。大きな夢と苦しみをもって死んでいった若い人たち、あれから七十年。悲惨な戦争はしてはならないとの心の籠もった句。二句目、寝たきり起きたりの病みあがり。妻が庭の螢を数匹蚊帳の中に放つてくれた。青白い光を点滅しながら飛び交う螢に、滅入っていた心が明るくなったのであろう。三句目、山野を歩いていると、近くの河で何か飛び跳ねる音がする。近づいて見ると、夕日にキラキラ光りながら水飛沫をあげて鮎が跳ねている。思いがけない景に息をのんで見つめているのが描けた。

柳壇

四電 英夫 選

食べられる事に幸せだった頃 草野 清
夏草のはびこる住まい老い一人 門脇 貞造
草刈り機夜明けともにもうなり出し 遠藤 舞
潮時と思えど元氣我れ米寿 高子うぶん
米寿過ぎ今の暮らしは淋しすぎ 阿部はぎの
晴天が続ぎ脳活ドリルまだ解ける 佐久間とみ子
ナツメロに青春の日々よみがえり 大庭美智子
かたつむり時の速さについて行け 村上 照夫
水田の漲る青さ悔いはなし 遠藤 松雄

皆さんは「給食」に対する思い出はありますか？
私の世代は、中学生になると弁当持参でしたので、小学校時代の給食は小学校生活の楽しみの一つでした。それに、昔は学校で作っていたので、お昼近くに、給食室の前にディスプレイされた当日のメニューを見て「今日の給食は…」と一喜一憂していたことも懐かしく思い出されます。なにせ子どものころから好き嫌いが激しかったので…(笑)。

「給食」

風間市長の風のささやき

低学年のころ、あの大型の金属ポットに入っていた「脱脂粉乳」は、とてもとても苦手で、飲むのに苦労しました。少しでも量を減らしても量を減らしても量減らしを考へていた

さらに、27品目といわれるアレルギー室を2室設置しました。本市の児童・生徒に安全・安心な給食を届けると共に、主菜副菜・汁物をすべて独立した食器に乗せて配膳することで、食事をする美しい所作を学ぶことも期待しています。何より、食べる喜びと楽しさを実感して欲しいものです。

8月の夏休み明けから、市内全小中学校に給食の提供が始まりました。昔の給食を頭に置きながら、今の給食を一度は食べてみたいものです。そのチャンスがあることを願っています。